

令和5年度第5回沖縄県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会議事要旨

日 時：令和6年3月14日（木）14：00～15：00

場 所：WEB（ZOOM）会議のため、各施設にて

出席者：14名

仲村渠美奈子（北部地区医師会病院）、玉城佐笑美（県立中部病院）、仲宗根恵美（那覇市立病院）、糸数真理子（那覇市立病院）、伊禮智則（那覇市立病院）、横田美佐（県立宮古病院）、岩崎奈々子（県立八重山病院）、樋口美智子（沖縄国際大学）、上原弘美（友愛医療センター）、富里果林（南部医療センター・こども医療センター）、西村克敏（地域統括支援センター）、増田昌人（琉球大学病院）、大久保礼子（琉球大学病院）、友利晃子（琉球大学病院）

欠席者：3名

島袋百代（ハシケンジャハシケン沖縄アフィリエイト）、小波津真紀子（沖縄県保健医療部）
有賀拓郎（琉球大学病院）

陪席者：1名

松田亮子（琉球大学病院事務）

【報告事項】

1. 令和5年度第4回情報提供・相談支援部会議事要旨(令和6年2月8日)

資料1に基づき、仲宗根委員より、令和5年度第4回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨について報告があり、承認された。

2. その他

当日資料に基づき、琉球大学病院看護師の砂川さんより、がん相談支援センターへのアピアランス助成制度に関する情報提供のポイントについて説明があった。令和6年4月1日から沖縄県の事業としてアピアランス支援事業が始まる。申請要件として「事前ががん診療連携拠点病院のがん相談支援センターの相談支援を受けていること」としており、相談支援センターの情報提供をある程度統一していくために活用いただきたいリーフレットの提案があった。ウィッグに関するリーフレットの説明ポイントとして、始めに、治療前や脱毛前など現在どの時期なのか確認し情報提供する。補正下着に関するリーフレットの説明ポイントは、手術前または手術後なのか、また再建予定の有無を確認する。補助具が必要な方には補助具の工夫点として、市販の物や製品専用の物だけでなく手作りの物で工夫できる事などを伝えるといいとアナウンスがあった。

上原委員より、相談センターに相談した日付と相談場所などをメモするようとの事だったが、申請時に記載することがあるのか、また、非拠点でウィッグの購入について相談したあとでも、必ず、拠点の相談支援センターに相談しないといけないのかと質問があった。砂川さんより、申請書に相談支援センターの病院名が記載されており、○を付ける欄と相談した日付を記入する欄があると回答があった。また、増田委員より、その他の質問については沖縄県に直接確認していただきたいと回答があった。

玉城委員より、相談方法でリーフレット使用についての提案がある為、相談支援センターに来てもらい対面相談がいいのかと質問があった。砂川さんより、相談は電話でも対面でも可となっており、できれば対面でリーフレットを見ながらだとの確に説明できるのではないと回答があった。

【協議事項】

1. 第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会案)における所掌分担について

資料2に基づき、増田委員より情報提供・相談支援部会の所掌7項目について説明があった。

2. 次年度活動計画について

資料3に基づき、増田委員よりロジックモデルの中から3～5項目程度、部会としてやるべきことについて意見をいただきたいと要望があった。後日、事務局あてにメールで意見をいただき、その意見をもとにメール審議し決定することとなった。

3. 所掌分担分野の指標値の確認と評価について

資料4に基づき、増田委員より、沖縄県協議会でPDCAサイクルをまわすために専門部会で行うことについて説明があった。指標の測定はベンチマーク部会がおこない、6月の部会までにすべての指標の結果が出る予定である。その結果を部会で協議し評価を行う。今後、情報提供・相談支援部会の所掌7項目の指標を3か月ごとに評価し、部会開催日に進捗状況を必ずレポートで報告する。レポートに関しては、ひな形を用意しマークシート方式など検討している。また、5月にロジックモデルと進捗管理について研修会を実施する予定である。

4. その他

大久保委員より、前回の部会で協議した、非拠点との連携を意識した研修会や患者会との合同開催の検討について、6月の部会前にワーキング形式で個別に時間をいただきテーマなど相談させていただきたいとアナウンスがあった。

・次回開催は、令和6年6月13日(木)14時から開催。